

問題 A

【出題意図】

日本は大規模災害を経験し、被災や備えなど災害に関する取り組みや政策等々が報じられている。発災時は多くの救助や支援を要し、時間の経過とともに二次災害などが発生する。さらに、災害時は直後だけでなく以降も被災者への支援が必要となる。災害に関することは、マスコミを通して知られていることも多い中、災害現場において、看護職は何を必要とされているのだろうか。本書は1995年阪神・淡路大震災発生に自らも被災したなかに、看護師として徹底して現場の問題に向き合い、被災地支援活動をつづけた、故黒田裕子氏の実践活動とその根底にある思想にもふれた内容が綴られている。寄り添うということは多様な場面で用いられているが、看護職としての寄り添い方、特に災害という厳しい現場のなかに、被災現場にある「人間としての寄り添い」とはどういうことなのか、本書を通して苦悩な心情を抱えた人との関りについて看護職を目指す人の考えを問いたい。

- ・問1は著者の述べている意味を読み取る能力を評価するための出題である。
- ・問2は文章の主旨を読み取り、自分の考えを論理的に述べる力を評価するための出題である。

【評価基準】

問1

相手を理解する、自分も心を開く、向き合う、そばにいる、共感する 以上の5つのキーワードが文章の中に記述できている、あるいは5つのキーワードに類似した語を記述し、要約することができる

問2

本文を引用し、自分の考えを述べることができる

問題 B

【出題意図と解答例】

問 1 英語表現の素養を問う。

解答 4 つ

問 2 英語の語彙力を問う。

解答 increased (rose, went up)

問 3 医療への関心の幅広さを確認する。

解答 (あ) f (い) c

問 4 英文読解能力を問う。

解答 dramatically

問 5 英語の素養と科学の歴史に関する教養を問う。

解答 Physics または physics

問 6 科学に関する素養と関心を問う。

解答 (あ) ポロニウム Po ラジウム Ra  
(い) 1

問 7 現代の社会に関する関心を問う。

解答 18

問 8 本邦の高度経済成長に関する教養を問う。

解答 (I) 名神 (II) 東名 (III) 東海道 (IV) 日本国有鉄道 (国鉄)

問 9 時事問題と国際貢献に関する関心を問う。

解答 日本原水爆被害者団体協議会、被団協または日本被団協

問 10 生活に基づくデータを理解する上で必要な資料の読み解きの能力と一般教養を問う。

解答 (あ) P 静岡 Q 名古屋 R 京都  
(い) Hamamatsu

(う) 計算すると 2 時間 13 分なので、「ひかり」は 57 分、「こだま」は 121 分の差である。

(え) 熱海駅と三島駅の間。小田原と熱海は全て 11 分である。熱海と三島の間には 11 分の列車もあるが、こだま 317 号の発車時刻の差が 10 分である。

※この問題は、単なる知識でなく判断理由の説明の仕方が評価される。

(お) 13